武庫川女子大学附属総合ミュージアム
Mukogawa Women's University Museum

# Museum News

no.8
2024.5

## 学生参加による大学ミュージアムの活況

附属総合ミュージアム　館長　横川公子

2024年4月1日、当館の年度初めの説明会は新鮮な面持ちで始まった。この日、文化庁からの国庫助成の決定がオンラインで官報に告示されたのだ。これを見越して、体制を整えていたのは言うまでもないが、早速に【武庫川女子大学近代衣生活資料整備事業】を始動することになった。説明会は当然、このことを踏まえたものである。

そして翌2日から、3名のベテラン臨時職員にアルバイト6名の大学院生・学部生を加えた事業がはじまる。蓋を開けてみると、学生たちの動きは迅速であった。誰でもが知っている「きもの」を前にして、ミュージアム資料としての「同定」（と「比定」）という仕事が始まる。すぐにわかったのは、彼らが「きもの」について無知なことだ。しかしひるむことではない。目を輝かせて、未知の世界に喰らいついた。既存のリストから文化財になった記録を読む。具体的なきもの資料を広げて観察する。形態や各部分の採寸、素材の特徴や色彩・文様を読み取る…、さらに使用痕や経年変化を観察し記録する、撮影する等々。

予想通り、資料は既存リストの記述や分類から漏れてしまう。期待どおりの A=A とはいかないのだ。詳細に見極める必要があるし、そのことを名付ける文言や呼称も求められる。すべてを俎上にあげ、検討する。実は、きものを畳んだりするだけでも大変なのだが。こうした緻密で面倒な試行錯誤が続く。

果たして、学生たちからは質問攻めである。どう見るのか、どう調べるのか、一つ一つ積重ねて一応の見解を共有する。成果を把握してメモのみでなく、記録を作るのも彼らの仕事になった。このプロセスで、ベテランの学芸員は質問詰めにあうのだが、すべての回答がある訳ではない。改めて文献を検索したり、手持ちの参考資料を調べたりしなければならない。学生アルバイ諸君も回答を教えるのでなく調べる必要があるのだ。異口同音に知りたい、調べたい、となる。如何にわからないのか、どのように考えているのか、捕まってまくしたてられることは日常茶飯事となった。そしてさらに続くだろう。

5月に入るころには、こうして出来上がった調査要領がほぼ共有できるようになった。学生が参加することによって、ミュージアムの一隅に大学らしい活気が沸々としている。そんな気がする。

## 生活美学研究所 附属総合ミュージアム 統合記念シンポジウム

### 大学ミュージアムとしての未来
－生活美学研究所との統合に際して－

日 時 ：5 月 18 日（土）　13:00 ～ 16:00
会 場 ：武庫川女子大学　学術研究交流館（IR 館）
　　1 階 101 教室
参加費：無料（要事前申込）

●基調講演『武庫川女子大学ミュージアムへの私的提言』
　講師：平松幸三（京都大学名誉教授・京都大学工学博士）

●パネルディスカッション『大学ミュージアムとしての未来』

参加者募集中！
右の QR コードから
Google フォームでお申込みください

5 階ギャラリー
2024年度春季展

## 第2回所蔵絵画展
## ―抽象と空想―
## 開催中！

開催期間：2024年5月8日（水）
～6月26日（水）
開館時間：平日　10:00 ～ 16:30
土曜　10:00 ～ 15:00
閉館日：日曜（但し、5月26日、6月23日は開館）

武庫川女子大学附属総合ミュージアムでは、現在、主に「武庫川女子大学近代衣生活資料」など、貴重な民俗・生活資料や美術品を多数所蔵し、調査・研究しています。当館では、武庫川学院の歴史や意思を受け継ぎ、学院が所蔵する美術品のうち絵画を、広く内外に公開するために定期的に「所蔵絵画展」を開催しています。作品の選定、展示計画などのキュレーションは、本学生活環境学部の森本真准教授がおこなっています。

今回は、抽象画とシュルレアリスムを中心に選定しています。

## 武庫川学院所蔵の絵画資料調査を実施

武庫川女子大学附属総合ミュージアムは、平成 6 年（1994）に開設された武庫川女子大学資料館・ギャラリーに始まり、学院の教育理念である「高い知性」や「善美な情操」、「高雅な徳性」を目指して、学院創立以来、生活用品や日本を代表する芸術家の作品を中心に収集し、活動してきました。

令和 5 年度には学院所蔵の絵画資料について、作品の状態を確認したり、記録のために写真撮影をおこなったりと、詳細な調査をすすめました。

大型の絵画資料を「スタジオ M＋」にて撮影し、あわせて詳細を確認している様子 →

## ミュージアムが新体制になりました！

2024年4月より、附属総合ミュージアムは生活美学研究所と統合し、新たな体制となりました。継続してきた研究活動をさらに充実させ、学内外の研究者と連携をしながら、より魅力のあるミュージアムへと展開していきます。ご期待ください！

### ”新体制”附属総合ミュージアム

附属総合ミュージアム
研究員・共同研究員

＋

生活美学研究所
研究員・共同研究員

＋　＋

学内外の組織・研究者

## 登録文化財の資料調査をおこなっています

附属総合ミュージアムには、2020年3月に「武庫川女子大学近代衣生活資料」として登録有形民俗文化財に登録された 9,092 点の貴重な資料が所蔵されています。このたび、文化庁の「民俗文化財伝承・活用等事業費国庫補助」に採択され、補助金を活用した大々的な資料調査を開始しました。資料の扱いに慣れたスタッフと、やる気に溢れた本学学生アルバイトとが協力し、資料の状態を確認し、詳細な調査をおこなっています。

## 1 階ロビー
## 2024 年度春季展示
# 「春」を装う
# 開催中！

**開催期間：2024 年 3 月 18 日（月）～ 5 月 31 日（金）**

このたびの春季企画では、まるで「春」そのものを装うような春らしい着物を展示しています。

着物の意匠には「春」が感じられるものが多くあります。たとえば、桜や牡丹、菫、藤などの様々な花、また軽やかに舞い飛ぶ蝶などが、長着や帯といった衣装を彩ります。これらの春らしい着物は、着るだけでなく、意匠を眺めているだけでも、明るい気持ちにさせてくれます。

はじまりの季節、華やかな着物を身に纏い、どこにお出かけしようか・・・そんなことに思いを馳せながら、麗らかな春のひとときをお過ごしいただければ幸いです。

↑
長着・帯・帯揚げ・帯締めを、ひとつのコーディネートとして捉えて展示しています。実際に着用した姿を思い浮かべてみてください。

# ミュージアムは ここにあります！

学術研究交流館（IR 館）　→

附属総合ミュージアムがどこにあるか、ご存知ですか？中央キャンパスの「西門」を出て、レストラン「ギャルソン」の南側の道を進むと、コンクリートの建物が見えます。ミュージアムは、この「学術研究交流館」の中にあります！春季展を開催している展示室は 5 階です。M.I.C カードで入館できます！

武庫川女子大学附属総合ミュージアム　Museum News no.8　2024 年 5 月発行
663-8558
西宮市池開町 6-46 学術研究交流館（IR 館）4・5 階　Mail　haku@mukogawa-u.ac.jp
TEL（0798）45-3509 / FAX（0798）45-9994　HP　https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum

Museum HP

MAP

ニュース内で使用しているイラストは附属総合ミュージアムで作成しました